

SAMURAI  
YOSHU  
CHIKANOBU

サムライ、

浮世絵を描く



特別展

# 楊洲周延

前期 2026 7.18 (土) ▶ 8.23 (日)

後期 2026 9.5 (土) ▶ 10.12 (月・祝)

※前期展と後期展で作品を総入れ替えします。  
※8月25日(火)～9月4日(金)は、展示替えのため特別展は  
ご覧いただけません。常設展のみとなります。

開館時間 | 午前9時～午後5時 (観覧券の販売は午後4時30分まで)

休館日 | 月曜日 (祝日の場合は開館し、翌日休館)、祝日の翌日

※8月10日(月)、8月12日(水)は開館します。

観覧料 | 一般510円(410円)、小中高生260円(210円)

※( )は20人以上の団体料金

※幼児及び上越市内の学校に通う小中学生は無料

※本料金で常設展もご覧いただけます。

※前期展期間中の観覧券提示で後期展は団体料金



上越市立歴史博物館  
JOETSU CITY HISTORY MUSEUM

〒943-0835

新潟県上越市本城町7-7 (高田城址公園内)

Tel.025-524-3120 Fax.025-522-7205

URL : <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/>



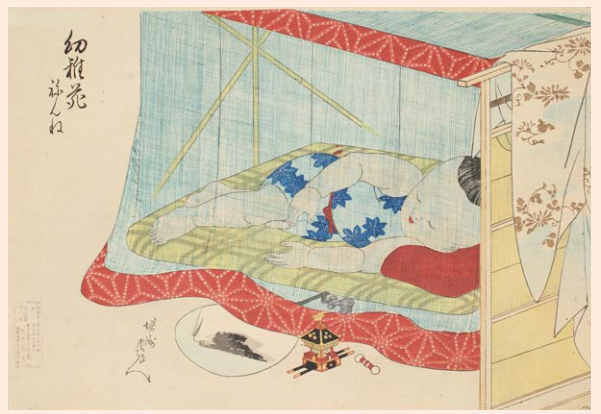
①「時代かがみ 安永之頃 櫛巻」(部分)

明治30年(1897) 前期展示

②「梅園唱歌図」(部分) 明治20年(1887) 前期展示



①



④

# 〈特別展〉楊洲 周延

— サムライ、浮世絵を描く —

明治時代に活躍した浮世絵師・楊洲周延は本名を橋本直義なほよしといい、高田藩士の浮世絵師です。天保9年（1838）、高田藩江戸詰の藩士・橋本直恕なおひろの嫡男として生まれ、歌川国芳くによしや豊原国周くにちから歌川派のもとで絵を学びました。慶応4年（1868）の戊辰戦争では、他の江戸藩邸藩士とともに神木隊を結成し、旧幕府軍に加わります。五稜郭の戦い後、謹慎で高田へ送還されますが、再び上京し、戊辰戦争後は高田藩士・橋本直義なほよしから浮世絵師・楊洲周延へと転身し、大成しました。

本展では、楊洲周延作品約1,200点の寄贈を記念して、今回新たに収蔵品となったコレクションの中から選りすぐりの約150点（前期・後期含む）を展示します。周延が描いた美人画や開化絵、歴史画など多彩な作品を通して、激動の幕末・明治を生き抜いた一人の高田藩士の生涯を紹介します。



②



③



⑤

「時代かがみ」を前期・後期展で52点公開



⑥



⑦

## 関連イベント

### 記念講演会「武士から絵師へ！ 楊洲周延の画業と人生」(オンライン)

日 時：7月19日(日) 午後1時30分～3時(午後1時開場)  
 会 場：市民交流施設高田城址公園オーレンブラザ  
 研修室・会議室(上越市本城町8-1)  
 対 象：一般60名(事前申し込み制)  
 申込方法：7月7日(火)午前9時から電話にて受付開始(先着順)  
 講 師：村瀬可奈氏(東京国立博物館研究員)  
 料 金：無料

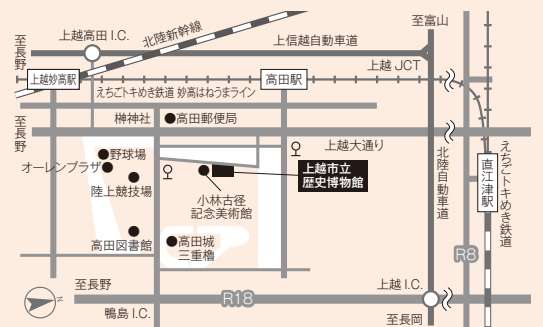


### 展示解説会(申込不要)

日 時：7月25日(土)、9月20日(日)、10月10日(土) 午後1時～2時  
 参加費：無料(ただし、観覧料が必要)  
 会 場：歴史博物館 企画展示室内

- ①「梅園唱歌図」明治20年(1887) 前期展示 / ②「日向宮崎ニテ賊將遊興図」明治10年(1877) 後期展示
- ③「上杉謙信 市川團十郎 武田信玄 中村芝翫 原大隅守 助高屋高助」明治15年(1882) 後期展示
- ④「幼稚苑 ねんね」明治38年(1905) 前期展示 / ⑤「春色梅花の盛」明治21年(1888) 後期展示
- ⑥「時代かがみ 安永之頃 櫛巻」明治30年(1897) 前期展示
- ⑦「時代かがみ 明治 臥龍梅」明治30年(1897) 後期展示 (全て当館所蔵、村田コレクション)

## 交通のご案内



### ●公共交通機関を利用

- ・北陸新幹線上越妙高駅下車「上越妙高駅前」から「中央病院行」バスで「西城町1丁目」降車、徒歩5分。
- ・えちごトキめき鉄道高田駅下車「高田駅前案内所」から「中央病院行」バスで「西城町1丁目」降車、徒歩5分。
- ・えちごトキめき鉄道直江津駅下車「直江津駅前」から「中央病院行」バスで「高田城址公園」降車、徒歩5分。

### ●車でお越しの場合

- ・北陸自動車道から上越IC～国道18号線 鴨島立体交差点右折、高田城址公園内まで約15分。
- ・上信越自動車道から上越高田IC～高田城址公園内まで約15分。